

特別外国人学生用 日本語科目について

- ・特別外国人学生用の日本語科目の授業レベルは、初級 J0 から上級 J8 までの 9 段階です。
- ・日本語科目の履修を希望する学生は、日本語プレイスメントテストを受けなければなりません。プレイスメントテストでは、文法・語彙・漢字テスト、および作文と面接を行います。なお日本語を学習した経験がない、または少ない学生には、インタビューとひらがな・カタカナのテストを行います。
- ・日本語科目の授業レベルは、日本語プレイスメントテストの結果によって決まります。決められたレベル以外の授業を履修することはできません。聴講することもできません。
立教大学では、「知っている」「勉強したことがある」ではなく、「習得している」「正しく使うことができる」ことを基準に学生の授業レベルを決定します。過去に学習したことのある項目（レベル）であっても、それが正しく使えていなければその項目を習得している（そのレベルに達している）とはみなしません。長い間勉強していなかったのを忘れてしまっただけだと訴える学生がいますが、そのような場合でもプレイスメントテストの結果と異なるレベルに振り分けることはありません。**自分の望むレベルでの学習を希望する場合は、事前に復習しておいてください。**
- ・日本語を学習した経験がないまたは少ない学生でも、J1以上のクラスを希望する場合は、来日までに以下のWEBサイトを利用し、ひらがな、カタカナの読み書きができるように自分で勉強してください。**ひらがな、カタカナの読み書きテストに合格しなければJ1を履修することはできません。**（J0は履修できます）
 - ①基本練習用 <http://www.coscom.co.jp/hiragana-katakana/index.html>
 - ②書く練習（ひらがな） <http://u-biq.org/hiragana/aka.html>
 - ③書く練習用（カタカナ） <http://u-biq.org/katakana/an.html>

<授業レベルについて>

レベル	履修資格基準
J0	日本語学習経験のない学生（あるいは少ない学生）で、日常生活に必要な日本語を学びたい学生。*このコースは半期完結であるため、継続して日本語を学びたい学生向けではない。
J1、J1S	日本語学習経験のない学生、動詞・形容詞の基本的活用が完全でない学生。ひらがな、カタカナの読み書きができる学生。
J2、J2S	非常に基本的な日本語（動詞や形容詞の基本的活用、語彙 500 語）を身につけている学生。
J3、J3S	日本語の基礎的事項を習得している学生（1,000 語程度の語彙、初級前半の文型）。
J4	初級文型、基本語彙（2,000 語程度）を習得している学生。日常生活のほとんどの場面で日本語により対応できる学生。
J5	日常生活の場面では、何の困難や問題もなく日本語で対応できる学生。
J6	一般的な事柄について会話ができ、日本語の雑誌、新聞が辞書を使いながらある程度読める、また、自分の意見を日本語である程度書ける学生。
J7	政治、経済、社会情勢などの高度な内容について会話ができ、日本語の雑誌や新聞がある程度正確に読める、またそれらの内容について自分の意見がある程度正確に書ける学生。
J8	高度の文法・漢字・語彙を習得しており、大学での学習・研究が十分日本語で行える学生。
日本語 演習 1-3	（J2-J5 レベルの学生のみ対象） 学生が既に学習した範囲での語彙や文型を用いて、出来る限り日本語で授業を進める。アニメ、映画、漫画及び小説等の多彩な教材を用いて、参加者の日本語の理解を促進させる。

講義内容はこちらを参照してください。 <https://cjle.rikkyo.ac.jp/syllabus/>